

自民クラブ

議案質疑

平成28年度 一般会計補正予算(第6回)

自治体シンクタンク設置に 期待する効果は?

問 都市間競争を生き抜くためには新たな政策が必要であり、知恵を絞り、財源に頼らない新たな政策を実現していくことが求められている。自治体シンクタンクを設置することでどのような効果が得られると考えているのか。

答 現在、地方においては、地方創生の名の下、人口減少社会や経済活動が成熟した社会に対応するため、自らの創意工夫により、各地域がそれぞれの特徴を生かした自立的で持続的な行政運営を展開することが求められてい

る。

自治体シンクタンクは、自治体の政策創出において徹底的な調査・研究を行い、当該問題を解決するための提言を行うために組織された機関や団体と定義されており、本市においても、市の政策形成力を高め、また厳しい財政状況が続く中、よりいっそう効率的かつ経済性を持って政策を創出することが求められている。その一つの手法として、本市では、自治体シンクタンクを設置し、庁内横断的な課題や担当課だけでは対応が難しい課題などを解決するため活用することが有益であると考えている。

自治体シンクタンクを設置することによって、主に各種統計データなどを収集し、徹底的な調査・研究を行うことで現状分析や将来予測に基づく最適な政策の提言、あるいは政策を実施する担当課への専門的かつ的確な助言などが行われ、更に、これらの助言・提言を受けることにより、職員一人一人の政策形成能力が向上するといった効果も期待できると考えている。自治体

シンクタンクの設置によって市全体の政策形成力を高め、自治体間競争に打ち勝ち、地域特性を生かした魅力あふれる西条を実現し、ひいては地方自治体の究極の目的である住民の福祉の増進を目指していきたい。

一般質問

新たに市政を担う 市長の抱負は?

問 市長は、市長選挙への出馬を表明して以来、

多くの市民から意見や要望を聴き、地域課題を把握されたと思うが、それらを踏まえて今回、市政のかじ取り役を担うに当たり、どのような抱負を持って臨もうとしているのか。また、西条市地下水保全管理計画案の見直しを訴えているが、どのように見直そうと考えているのか。

答 本市は、豊富な水資源やものづくりの技術など世界に誇れる魅力と可能性

を多く備えており、地域間競争に遅れをとらず元気あふれる新しい西条を創ることができると確信している。山積する行政課題を解決するためには、自ら現場に足を運び、臨場感を持って対応することが必要だと考えており、「全ては市民のために」と肝に銘じて市民主役の西条を実現していきたい。

そのためには、旧行政区にとらわれない市民の融和と一体感が最大の鍵であり、加えて市民ファーストの視点で考えると、地域住民が自主的に課題解決に取り組む自主組織の必要性を大きく感じており、市民が自らのまちに誇りを持ち、行政とともにまちづくりを進めていこうとする市民参加や協働の意識の醸成を図る



地下水の適正な保全・管理を

必要があると考えている。

更に、次代を担う子どもたちや若者は本市の宝であり、子どもたちが希望に胸を膨らませ、全ての若者が互いに夢を語り合える社会を作るため、人材育成プログラムを確立するとともに、若者の働く場を創出すべく新産業の創造による地域活性化に取り組みたい。

そして、つながり広がる西条の実現に向けて、市長自ら魅力発信の先頭に立ち、大都市圏をはじめ国内外へのトップセールスを行い、総合力を結集させて「ワクワク度日本一」の西条を実現させたい。また、西条市地下水保全管理計画案については、地下水の利用に関し、費用の受益者負担を求める考え方に疑問を抱いており、見直しが必要の部分であると考えているため、その他の部分と併せて検討したい。

具体的な見直しは、これまでの経緯を踏まえるとともに議会との協議も必要であるため、平成29年2月の市議会議員改選後に具体的な協議に入り、平成29年6月定例会で報告できるように進めたい。